

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、イベントや開館日が変更となる場合があります。

## 企画

## 県立図書館の子どもの読書活動関連の取組

4月の「こどもの読書週間」にあたり、子どもの読書活動に関わる方々を支援するために、県立図書館が行っている様々な取組をご紹介します。

## 1 読書活動支援室の運営

子どもの読書活動に関わるボランティア・図書館関係者・学校関係者等への情報提供と支援を行うことを目的とした場所です。関係者が活動や業務で必要とする資料を収集しています。

絵本・児童書／児童文学作家・作品に関する図書・雑誌／学校図書館の運営に関する図書・雑誌／専門機関が発行した絵本・児童書の目録／読み聞かせやブックトークのやり方に関する図書



読書活動支援室

## 2 子どもの読書ボランティア指導者派遣事業

読み聞かせやおはなし会等を行う、またはこれから行おうとするボランティア団体・グループ等の要請に対して、実技の指導、相談に応じる指導者を、栃木県立図書館が紹介・派遣する取組です。

## 3 児童サービス研修会・子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ研修

上記の取組に加え、地域において子どもの読書活動を推進する市町立図書館等で、子ども向けのサービスを担当する職員を対象とした「児童サービス研修会」、2で紹介した指導者の更なるスキルアップを目的とした「子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ研修」を実施しています。

## お知らせ

## 第37回日産童話と絵本のグランプリ大賞受賞作品寄贈

「第37回日産童話と絵本のグランプリ」の童話大賞作品「ながみちくんがわからない」と絵本大賞作品「マロングラッセ」が日産栃木会から寄贈されました。

当館では、地下1階の読書活動支援室に「日産童話と絵本のグランプリ大賞作品コーナー」を設け、これまでの受賞作品を展示しています。

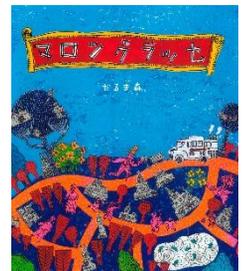
第37回 日産 童話と絵本のグランプリ

【童話大賞】

「ながみちくんがわからない」(作/数井 美治さん)

【絵本大賞】

「マロングラッセ」(作・絵/だるまもりさん)

第390号の  
主な内容

- ・県立図書館の子どもの読書活動関連の取組…p.1
- ・日産童話と絵本のグランプリ大賞受賞作品寄贈…p.1
- ・レファレンス事例登録1000件到達…p.2
- ・特別文庫「神長瞭月文庫」の開設について…p.2

- ・＜連載＞館長コラム…p.3
- ・＜連載＞図書館のお仕事…p.3
- ・＜連載＞司書目(おすすめ本紹介) …p.4
- ・イベント案内&カレンダー…p.4

## レファレンス事例登録1000件到達



図書館では、「レファレンスサービス(調査相談業務)」として、みなさまが必要な本や情報を得るためのお手伝いをしています。

図書館で回答したレファレンスの一部は、今後の調査に役立てるため、質問者の個人情報が分からないよう編集した上で、レファレンス事例としてインターネット上で公開しています。

栃木県立図書館では、平成17年6月にホームページ上で手作りのレファレンス事例データベースの公開を開始しました。検索機能を持つデータベースを提供する館がまだ少なかった当時としては画期的な取り組みでしたが、同年12月に国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」(通称「レファ協」)が公開された後は徐々にこちらでの公開へ移行し、これまで登録した事例の件数はこの3月で1000件に到達しました！事業に貢献した図書館に送られる国会図書館長からの礼状は、制度開始以降13年連続でいただいています。

近年では、レファ協で下調べしてから当館に来館される方も増え、多くの方にご活用いただいているようです。これからも栃木県の「知のインフラ」として、みなさまに役立つ情報提供を続けてまいりますので、温かく見守っていただければ幸いです。

(参考:レファレンス協同データベース <https://crd.ndl.go.jp/reference/>)

♪レファ協公式ツイッター(@crd\_tweet)でも時々当館のレファレンス事例を紹介していただいています♪

○佐野市には鰻を食べることを禁忌とする風習があると聞いたが、詳細を知りたい。—2021年12月27日のツイート

○宇都宮城築城には大谷石が使用されていたのか。—2021年12月24日のツイート

○日本人が一日にテレビを見ている時間についてのデータはないか。—2020年8月28日のツイート

## お知らせ 特別文庫「神長瞭月文庫」の開設について

本県出身の演歌師であり、発明家でもある神長瞭月(かみながりようげつ)氏に関する資料群です。神長瞭月氏の蔵書のほか、直筆の譜面、レコード、特許関係資料等が含まれています。今回はその一部について、受入作業を行いました。今後、他の資料も随時受入れ作業を進めていく予定です。

## 【神長瞭月について】

明治21年栃木県塩谷郡で生まれ、明治36年に上京し、演歌師としての活動を始めました。演歌の伴奏楽器としてヴァイオリンを取り入れた最初の人物であり、演歌を日本で初めてレコードに吹き込み、市販します。



## 令和4(2022)年度県民ライブコンサート開催予定

コンサート

今年度も県民ライブコンサートを開催します。昨年度と同様に事前申込制(申込順)となりますので、館内で配布される各公演チラシをご確認のうえお申込みください。チラシは各公演日の概ね1ヶ月前から配布する予定です。

## R4(2022)年度開催予定

- 1 弦楽器による室内楽コンサート  
7月28日(木) アンサンブル プランタン
- 2 ソロピアノコンサート  
9月22日(木) 熱田 紀
- 3 ハーモニカによる世界の名曲アンサンブルコンサート  
11月24日(木) フジアンサンブルメイツ

- 会場 栃木県立図書館1階ホール
- 事前申込制(各公演40席程度・申込順)、入場無料
- ※感染症拡大等の社会情勢により、やむを得ず公演を延期・中止する場合があります。
- ※休館日(館内整理日)に開催します。当日は通常の窓口業務(貸出・返却・資料検索等)は行いませんのでご注意ください。

〈館長コラム〉

## ムラカミハルキと絵本のこと

コロナ禍への対応も3年目に入りますが、依然として予断を許さない状況です。新年度も引き続き皆様のご協力を得ながら開館してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、年明け2月の下旬、祝日のテレビでは猫を特集した番組が立て続けに放映され、22日が猫の日であるとなりました。今年は「2022年2月22日」とプロ目が続く特別な猫の日だったそうです。猫好きで知られる作家の一人、村上春樹氏の著作にはたびたび猫が登場しますが、『ふわふわ』という絵本のことを知ったのは最近になってです。「いのちあるものにとってひとしく大事なこと」、「幸せとは温かく柔らかいことであり、それはどこまでいっても、変わらないんだというようなこと」を、子ども時代に猫と過ごした日々から学んだと氏は語っています。ハルキワールドに絵本があったなんて！これを機に氏の絵本、童話、絵付き短編の類いにも触れておかなければと思いました。

興味深いことに、図書館が舞台の作品がありました。『図書館奇譚』(1982)をオリジナルとした2冊の本です。一つは子ども向けにリライトして佐々木マキのイラストとともに刊行された『ふしぎな図書館』(2005)。もう一つはドイツのイラストレーター、カットメンシックのミステリアスな絵とともに大人向きに手を加えられた『図書館奇譚』(2014)。前者は恐ろしいストーリー展開と温かみのあるイラストとのずれが面白さを醸しだし、子どもにも心理的負担を与えないのに、後者はその謎めいたイラストが不気味な雰囲気を一層増幅させているのです。この二つが同じ原作とは思えないほど、全く異なる個性を持っていました。絵本を介して実に楽しい体験ができました。

今回借りたのは都合7冊。内2冊は当館所蔵ですが、他の5冊は相互貸借制度により県内の別の公立図書館からのものでした。皆様も、相互貸借制度を県内のより多くの図書と巡り合う機会にご活用ください。

(栃木県立図書館長)

図書館  
の  
お仕事  
9

### — 資料課 —

## 図書館資料の修理

図書館には、窓口以外にも多くの職員がおり、それぞれの業務で館を支えています。館内のさまざまなお仕事について、裏話も交えながらご紹介します。

県立図書館では、図書をはじめ、新聞や雑誌、視聴覚資料など、様々な種類の資料を所蔵し、利用者の皆様に提供しています。

図書館資料は、多くの人の手に渡ることで、汚れたり破れたりする場合があります。資料課では、より永く図書館資料が利用できるように、壊れた本の修理を行っています。資料の傷み方は様々で、職員の手で治すことが困難な場合もありますが、今回は比較的持ち込まれることの多い「破れ」の修理方法をご紹介します。

当館では、紙の種類や厚み等によって、和紙やでんぷん糊、補修専用テープなどのツールを使い分けています。でんぷん糊は天然由来成分でできており、水で濡らすと剥がれることから、資料の修理によく使用します。また、補修専用テープのフィルム部分は和紙やポリエステルでできており、劣化しにくい接着剤が使われています。紙同士を貼り合わせる際は、文字がつぶれたりゆがんだりしないよう、状態を確認しながら、丁寧に作業を行います。

図書館の本を利用していると、ページが取れたり、うっかり破ってしまったりすることがあるかもしれません。その際は、セロハンテープ等を貼らずに、そのままの状態でご返却ください。ご協力をお願いいたします。



資料の修理に使う道具たち



わたしの1冊 読んでみませんか？

司書が日常の中で接した本から、おすすめの1冊をご紹介します。

『粉引の器その発想と作り方  
美しく、使い勝手のよい白化粧の器をさがす、つくる、つかう』  
(陶工房編集部／編 誠文堂新光社 2020)

本書は焼き物の装飾技法のひとつである、「粉引(こひき)」に特化して書かれた本です。粉引とは、ベースの土の上に白い化粧土と釉薬(ゆうやく)をかけて焼く方法で、「益子焼」にも使われています。柔らかな温かみのあるアイボリー色の器は、ナチュラルな雰囲気です。普段使いしやすく、人気を集めています。「粉引」という言葉を知らなくとも、粉引の器をお店で見かけたり、手に取ったりしたことがある方が多いのではないかと思います。

本書ではまず、粉引きの基本の作り方や材料等の基本的な知識について解説した後で、粉引きの作品を手掛ける12人の陶芸作家の作品や技術、陶芸に対する思いを写真とともに紹介しています。「粉引」と一言でいっても、化粧土のかけ方やベースとなる土の種類、釉薬の種類、焼き方などで仕上がりは異なります。本書で紹介されているものだけでも、アンティーク風のものや、武骨でかっこいい雰囲気のもの、素朴で温かみのあるものなど、作家によって作風は様々で、そのバリエーションの多さに驚かされます。

取材を受けているのは、益子町や茨城県笠間市で陶芸家として活動されている方達です。作品を取り扱っているギャラリーも紹介されているので、気になる器を見つけた際には、実際に足を運んでみてはいかがでしょうか。(雲)



粉引の器  
その発想と  
作り方

誠文堂新光社

陶工房編集部

## イベント案内

### ■県民ライブコンサート

弦楽器による室内楽コンサート

7月28日(木) アンサンブル プランタン

※会場、申込み方法等の詳細は、開催日の概ね1ヶ月前に配布されるチラシをご確認ください。

### ■館内展示

#### 1F ロビー

- ・令和3年度「伝えよう！本の魅力コンテスト」
- ・「読書コンシェルジュ」

#### 2F 公開資料室

- ・感染症について知ろう

#### 3F 地域資料室

- ・令和3年度栃木県文化功労者
- ・(美術館連携) タイトル未確認(4月中旬～)
- ・(博物館連携) 異界～あなたとふいにつながるせかい～(4月下旬～)

#### 4F 公開資料室

- ・カラヴァッジョ生誕450年
- ・2021年追悼企画 本で偲ぶ泰斗たち
- ・追悼 石原慎太郎氏
- ・令和3年度 文学賞受賞作(4月上旬～)

図書館カレンダー ※□は休館日です。太字の日は県庁地下駐車場が利用できません。開館日のサービスを変更する場合があります。詳しくはHP等でご確認ください。

4	日	月	火	水	木	金	土	5	日	月	火	水	木	金	土	6	日	月	火	水	木	金	土
APR						1	2	MAY	1	2	3	4	5	6	7	JUN							
	3	4	5	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14		5	6	7	8	9	10	11
	10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21		12	13	14	15	16	17	18
	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28		19	20	21	22	23	24	25
	24	25	26	27	28	29	30		29	30	31						26	27	28	29	30		



栃木県立図書館報  
図書館だより 第390号

発行日 令和4(2022)年4月



発行 栃木県立図書館  
〒320-0027 宇都宮市埜田1-3-23  
TEL 028-622-5111(代表)  
E-mail : tochilib@lib.pref.tochigi.lg.jp  
HP : http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/